



(純政会)

やまなか よしこ
山中 佳子 議員

1、大震災を教訓とした災害・環境に配慮した美祢市の新たな街づくり構想について

問

合併以前からの懸案であった秋芳洞のLED化が、今年度から行われていますが、省エネ、環境に優しい照明であるLEDを他の公共施設・病院などに設置を検討されていますか。

答

秋芳洞観光センターの周辺から秋芳洞商店街の通路、そして秋芳洞入り口までの街灯をLED照明に変更しました。また、市役所前庭の街灯もLED化しています。

市施設のLED化も今後大いに

進めてまいりたいと思います。

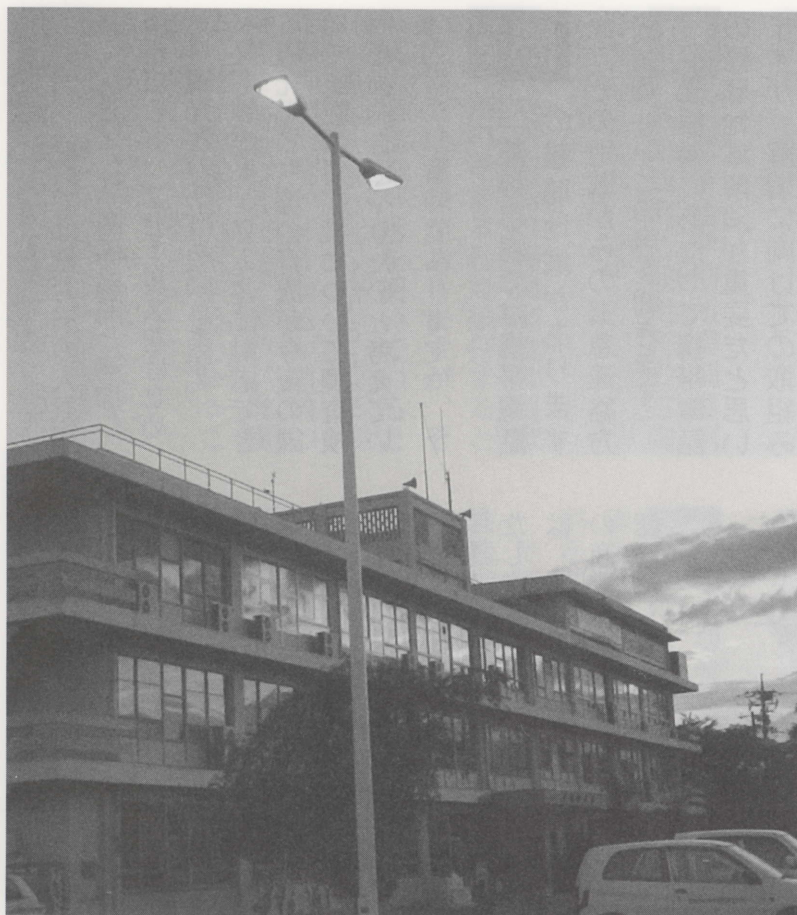
問

自然エネルギー普及促進で、ソフトバンクの孫社長は府県の所在地に太陽光発電所の建設や、太陽光パネルの設置計画を掲げていますが、美東町の十文字の市有地の活用方法として手を挙げてみるのはいかがでしょうか。

答

孫社長宛てに美祢市の土地開発公社所有の十文字原総合開発用地を建設用地としてご一考いただきたいという公文書を出しました。

また中国電力に対してもメガソーラー建設予定地の候補に上げていただきたいという申し出も行なっています。



LED化された外灯（美祢市役所前）

2、東日本大震災の被災者の受け入れ態勢と現況について

問

大震災後、原発事故の放射能から子どもを守るうと、祖父母の元に預けたり、お母さんと子どもだけの転居という例を多く耳にします。

一時的に避難されてきた人たちのために、短期・中期の保育所の受け入れ態勢は整っているのでしょうか。

答

平成23年3月11日厚生労働省から通知があり、避難された方の住民登録の移転の意思があるなしにかかわらず、避難先の市町村の判断で入所ができるということになっています。

保育所運営費については、避難元の市町村の機能が回復後に、当該市町村に費用を請求します。

また行政を通じて美祢市に入りたいということはありませんが、受け入れ態勢は十分整えていますので、そういう対応はさせていただきます。



(政和会)

たけおか まさはる
竹岡 昌治 議員

1、平成23年度当初予算について(その2)

問 土砂災害ハザードマップの取組状況についてお尋ねします。

答 現在、山口県の土木建築部砂防課の指導のもとに、美祢市内で土砂災害により被害を受ける恐れのある区域の地形、地質、土地利用状況等についての基礎調査が、本年の8月ごろには完了する見込みです。その後、土砂災害警戒区域の指定をし、地域防災計画への記載やハザードマップの作成を本年度することとしています。

問 堀越地区の住民の安心・安心確保対策の一つ

として、避難場所を兼ねた堀越コミュニティセンターの建設をお願いしたいが、お考えをお尋ねします。

答 現在の堀越会館は老朽化が著しく危険性も高いといふことを認識しています。従いまして、地域の活性化と活動コミュニティの場としての利活用とともに、地域の安全・安心の観点から、建て替え等を検討していく必要があるかと考えます。



現在の堀越会館

問 秋芳洞の商店街における調査委託事業についてお尋ねします。

答 この調査は、売上高の向上と生産・雇用波及効果が生まれるものと考え、商店会の魅力向上に向けた取組みであること

を、地域の方々に十分理解と納得をさせていただく必要がありますので、商店街の皆様方と担当部署のほうで協議検討をしていただき、十分な理解をいただいた上で、調査の実施をしたいと考えています。

問 グリーンツーリズムの推進についてお尋ねします。

答 ゆとりや安らぎ、安全・安心な食を求める都会生活者のニーズに対応した農家民宿、農家レストラン及び農作業体験施設などの開拓を進め、特徴ある観光資源を豊富に有している美祢市を活かし、地域資源の付加価値をさらに高めるためにも、市民の皆様、関係機関との協議を進めてまいります。

問 外部監査の指摘により、観光に関わる経営健全化計画で示された施設の統一指定管理についてお考えをお尋ねします。

答 秋吉台家族旅行村が来年度の3月で指定管理の期間が切れますが、経営健全化計画の中で、明確にこの平成23年度中に統一

的な指定管理に持つて行く方向性を出していますので、リフレッシュパークを含めた形態での指定管理を検討するよう指示をしています。

問 万倉の大岩郷の駐車場から見える棚田の畦畔の野面石の一部崩壊が見られるが、どのようにお考えかお尋ねします。

答 万倉大岩郷は重要な観光スポットでありますので、今のまま放置すると大岩郷そのものの景観を損なうようになるため早急に手当てしたいと思えます。

問 ふるさと応援未来創造交付金事業のねらいについてお尋ねします。

答 それぞれの地域で協議会を立ち上げていただき、一生懸命になっていただける方、すなわちリーダーをつくって、疲弊しつつある地方・地域の活性化を図りたい、誇りある美祢市を創造したいと言うことです。なお、この事業は次年度以降もしばらく継続したいと思えます。